

作成日：令和5年6月10日

学校法人 神戸滋慶学園 神戸医療福祉専門学校中央校
令和5年度第1回学校関係者評価委員会議事録

議事録作成者：尾崎万理子

- 1 開催日時 令和5年6月10日（土）14時30分～15時30分
- 2 開催場所 神戸医療福祉専門学校中央校を拠点とするリモート会議
- 3 参加者 学校関係者評価委員
山本 高敬 業界代表（事業協同組合 全国鍼灸マッサージ師協会 相談役）
橋本 薫子 業界代表（神戸市老人福祉施設連盟 理事）
川崎万紀代 高校関係者代表（学校法人百合学院百合学院中学校・高等学校前校長）
大庭 英朗 卒業生代表（医療法人芙蓉会 ハートフルクリニック 事務長）

欠席者 島 誠一 近隣関係者代表（ANAクラウンプラザ神戸 セールスアンドマーケティング部クラウンイベントディレクター）
上田 百枝 保護者代表（神戸医療福祉専門学校中央校 介護福祉士科）

学校側参加者

川口 延子	神戸医療福祉専門学校中央校	校長
黒田 尚子	神戸医療福祉専門学校中央校	事務局次長
尾崎 万理子	神戸医療福祉専門学校中央校	福祉系教務副部長
由良 和也	神戸医療福祉専門学校中央校	介護福祉士科 学科長
前田 見太郎	神戸医療福祉専門学校中央校	鍼灸科 学科長

4 会議の概要

- (1) 校長挨拶
- (2) 令和4年度自己点検自己評価
- (3) 講評・意見交換

5. 議事録

- (1) 校長挨拶

委員の皆様方にはご多用な中「学校関係者評価委員会」にご出席頂き感謝申し上げます。GW明けの5月8日から新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザなみの5類相当になりました。これにより、行動制限の緩和等かなり平常時対応に戻ってきたと実感している所です。しかし、想定された事とはいえ、この3年以上にわたるコロナ禍は私達一人ひとりの考え方や生活に影響・変化をもたらしました。また6月2日厚生労働省から出生率が1.26と過去最低となりました。かつて「教育とは未来に向けた最大の投資であり、最大の社会政策である」と当時の文部科学大臣の言葉ですが、教育の有用性、有益性の一端を語っていると思います。皆様方が産業界やお立場、実生活を通して感じておられる本校への意見をお聞かせ下さり、命や健康を守り心身をサポートする医療・福祉の魅力を発信し、社会人・職業人の育成に寄与する学校運営が出来ますようよろしくお願いいたします。

- (2) 令和4年度自己点検自己評価結果報告及び学校関係者評価

本校が実施した自己点検・自己評価内容を下記10項目について説明後、各委員から評価していただいた。

1. 教育理念・目的・育成人材像

2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生募集と受け入れ
8. 財務
9. 法令等の遵守
10. 社会貢献・地域貢献

* 自己評価・学校関係者評価の結果表参照

(3) 自己点検・自己評価に関する意見交換

川崎委員：学生募集は大変だと思いますが、鍼灸科の定員充足は喜ばしい。退学率も4%台なので、今後もこれを守って頂きたいと思います。

橋本委員：自己点検・自己評価はほぼオール4なので、優秀な運営をされていると思います。介護の現場ではICTの導入が進んでいますが、介護福祉士科ではICT化の教育は導入されておられるのでしょうか。また、学校全体としてDXに関する職員研修や効果的なSNSの活用方法について教えて欲しい。

由良委員：DXについてはZOOMの活用やTEAMSを稼働させています。授業資料はTEAMSにアップして閲覧が可能な状態にしています。冬季休暇中の国家試験対策はTEAMSで実施する予定です。ICTに関しては、今後取り組んでいきたいと思っています。

黒田委員：効果的なSNSの活用については学生募集に関して、LINEを活用しています。またTwitter、Instagramを中心に普段の学生生活の様子を掲載する事で、進路選択の一助を担う役割を果たしている部分があります。また学校全体のDX推進については、グループ校で研修を行ない実践しています。

黒田委員：本日はお忙しいところ、貴重なご意見を頂戴して心より御礼申し上げます。皆様から頂いたご意見は、今後の教育活動に活かしていきたいと考えております。

以上